



2009 - 3

2010.2.4

環境に配慮した新駅 阪急電鉄「摂津市」駅の開業に伴い バイオディーゼル100%バスを運行いたします。

阪急バス株式会社(本社:大阪府豊中市、社長:小津正弘)では、地球温暖化対策の一環として2008年12月より使用済み食用油から精製されたバイオディーゼル燃料100%で走るバス1両を豊中営業所管内において運行しておりますが、2010年3月14日(日)に阪急電鉄の環境に配慮した新駅「摂津市」駅が開業することに伴い、同駅前に乗入れを予定しているバス1両をバイオディーゼル燃料100%バスとして新たに運行いたします。

バイオディーゼル燃料は、植物性であるため鉱物性燃料と違って大気中の二酸化炭素を新たに増やさない資源循環型の新燃料で、また酸性雨の原因となる硫黄酸化物(SOx)は発生しません。

記

- 1.実施日 2010年3月14日(日)
- 2.運行営業所 柱本営業所(高槻市柱本1丁目5番1号)
- 3.使用車両 1両
- 4.運行路線 吹田摂津線(JR千里丘～(阪急摂津市駅経由)～摂津ふれあいの里・柱本営業所前)
柱本線(阪急茨木東口～柱本～鳥飼八防循環) いずれも平日のみ運行
- 5.使用燃料 バイオディーゼル燃料100%(阪急阪神ホールディングスのグループ会社である(株)いいなダイニングから回収された使用済み食用油を精製いたします)
- 6.燃料使用量 約10,000 /年
- 7.CO₂削減効果 年間約26t-CO₂(バイオディーゼル燃料の燃焼により排出された二酸化炭素はもともと大気中にあったものを大気に戻しているという考え(カーボンニュートラル)に基づいております)
- 8.PRについて 車両外観に「環境」をテーマにしたラッピングを施します。
また、路線バス全車、当社事務所、いいなダイニング店舗等に紹介ポスターを掲示します。
- 9.精製業者 株式会社レポインターナショナル(本社所在地:京都市)
- 10.その他 この取り組みは、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として取り組んでおります。

【「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」ホームページ】 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

以上

【車両ラッピングデザイン】



10500



10500



2270